

江東中だより

令和元年度 年度末号

2020年3月24日発行

江津市立江東中学校

校長 大野 淑子

年度末を迎え

このたびの新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業措置を取ってから3週間余りがたちました。本日を臨時休業中の特別の登校日とし、本年度の修了を迎えています。

臨時休業中、1, 2年生の皆さんは家庭にあって、不要不急の外出を控え、学習課題に取り組みながら、毎日自律的規則正しく生活を送るのは、なかなか大変なことだったと思います。

8日には3年生18名が卒業証書授与式に臨み、保護者の皆さん、教職員、そして在校生代表が見守り、祝う中、感謝と希望の言葉を述べて卒業していきました。(詳しくは裏面へ。)

明日の春休み開始から、縮小はありますが、部活動等が再開となりました。日本国内も世界の多くの国々も、未だ感染拡大の中にありますが、学校は、生徒の皆さんの心身の健康と中学生としての学びや健全な生活等の保持を支えていくことを強く思っています。油断したり、自粛に疲れたりすることなく、しっかりと元気に春休みを過ごしてくれることを願っています。

島根県学力調査から

さて、1月下旬に島根県学力調査の結果が公表されました。この調査は、中学校では1, 2年生が対象(3年生は質問紙のみ)であり、全県では国語・数学・英語の3教科、江津市では社会・理科を独自に加えたものとなっています。これまでの学力調査等で明らかとなった課題の改善状況を検証することがねらいです。

まず、各教科の結果をみると、強みとして、

- ・粘り強く問題に取り組もうとしている。
- ・説明的な文章を理解したり、それについて自分の考えを述べたりする。

・各教科の中で、得意とする分野や領域がある。という様子がありましたが、半面、弱みとして、

- ・理由や根拠を上げて説明する力
- ・資料から必要な情報を取り出したり活用したりする力

・各教科の基礎的基本的な力
等が十分育っていない、という姿が見えました。

また、質問紙からは

- ・地域の行事によく参加する。
- ・家の人とよく話をする。
- ・色々なことにまじめに取り組もうとする。

という前向きな姿勢が伸びている一方で、

- ・自分にはよいところがある、周りから認められている、とあまり思わない。
- ・自分から進んで行動することが苦手だ。

というような自信のなさ、自己肯定感の低さが感じられました。そして、全県的な課題である

- ・家庭学習時間の少なさ

も、なかなか改善されていません。

これらを受け、江東中学校では今後、

- 基礎的基本的事項の確実な定着
 - 教科の語句を用いたり、理由や根拠を上げたりしながら論理的に説明する学習活動の充実
 - 授業と結びついた家庭学習への指導
 - 互いを認め合い高め合う生徒集団の育成
- を重点に挙げ、課題の改善、江東中生徒の育成に向けて取り組んでいこうと考えています。



【3/24 ひさしぶりの登校。昇降口で健康チェック。】

卒業式 3月8日(日)

3月8日(日)、第70回の卒業証書授与式を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業中の式となり、参加者を、卒業生・保護者・教職員に限り、式の時間を短縮するといった対策を行った上での式となりました。

ふだんならば在校生が中心となって行う会場準備や卒業生教室の飾りつけも、職員が行いました。



そして、本来ならば来賓席のある側の壁面には、文化祭の壁画や体育祭のデコレーションを飾りました。

卒業式は、9時に卒業生入場で始まりました。体育館中央を歩く卒業生は、マスクをしていても緊張感が伝わるかのようでした。

開式のことば、国歌斉唱ののち卒業証書授与です。担任が呼名したあと、校長が一人一人に卒業証書を授与しました。

校長式辞の後は在校生送辞です。高橋悠希君が在校生代表として臨席し、思いを伝えました。

そして、卒業式答辞です。川戸希さんが、3年間を振り返って、しっかりと気持ちを伝えました。

その後、校歌斉唱、閉式のことばで卒業生は退場しました。短時間(40分)の式となりましたが、人生の節目にふさわしい、落ち着いたしっとりとした卒業式となりました。



送辞

草木のつぼみもふくらみ始め、日の光・雲の様子には春らしさが感じられるようになりました。この良き日に江東中学校を巣立っていかれる卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

2年前、僕たちが入学してきたあの日、僕たちを、先輩方は温かく迎えてくださいました。気持ちがとても楽になり、不安が楽しみに変わったことを思い出します。

先輩たちは多くの手本を示してくださいました。その一つがあいさつです。先輩たちの元気なあいさつを手本に僕たちは毎日の学校生活を過ごしてきました。江東中学校の誇りであるあいさつも、先輩方が磨いてくださった学校の宝だと思います。

僕が一番心に残っているのは生徒会活動です。新たな取り組みの全校活動では、毎月1回、委員会ごとに「宝探し」や、「新聞折り畳みゲーム」など楽しい企画をされ、他学年同士、話をする機会が増えました。生徒会のテーマでもある、「つながる」ことができました。皆さんの全校で楽しんでいきたいという気持ちが伝わってきました。

さらに3年生の力を感じることができたのは、体育祭です。応援合戦のダンスは、完璧に踊ることができるようになるまで教えてくださったおかげで本番では自信をもって踊ることができました。また、今年は「障害物リレー」「借り物競争」など、たくさんの新種目がありました。不安な部分もありましたが、皆さんの応援で会場全体が盛り上がりました。そして結果発表。奇跡の赤青同点優勝でした。皆さんの熱い思いがあったからこそ、全校生徒が心から楽しんだからこそ起きた奇跡だと思います。

そして文化祭。全校壁画では、完成を楽しみに1マス1マス心をこめて色を塗りました。そして当日、オープニングで初めて披露された壁画は、あの奇跡の体育祭の僕たちの姿でした。作品の迫力に驚くとともに、3年生の皆さんと一緒に頑張ったあの日の思い出がよみがえり、笑顔で文化祭をスタートすることができました。

3年生の総合的な学習の時間の発表では、「江津市地域活性化プログラムコンテスト」と題して、20年後の江津を活性化させる取組を提案発表されました。発表の中には、試食があったり来場者に投票を呼び掛けたり、全員で「ハカ」を披露したりなど、新しい工夫がたくさんありました。学んだ内容をしっかり発表し、伝えきった3年生。そして全体を一気に盛り上げた3年生。そのどちらの姿にも、3年生の底力を感じました。

3年生の皆さんと過ごした一日一日は、僕たちが在校生にとって、かけがえのない時間でした。僕たちは先輩方の姿から本当に多くのことを学びました。

これからも僕たちは、みんなと力を合わせてこの江東中学校を盛り上げていきたいと思っています。まだ先輩方のように力強さはありませんが、伝統を引き継ぎ、しっかり力をつけて頑張っていきたいと思っています。

3年生の皆さん。どうか、それぞれの進学先でも勉強や部活動を頑張ってください。そして自分の将来の夢へ向けて努力を続け、夢をかなえてください。きっとそれぞれの新しい場所でも自分の個性をしっかりと出すことができますと信じています。

この式に出席できなかった1・2年生を含め、在校生一同、みなさんの門出を心からお祝いし、送辞いたします。

令和2年 3月8日

在校生代表 高橋悠希



答 辞

暖冬と言われているにもかかわらず、海風が厳しく吹き荒れ風車が勢いよく回るのが見えるこの校舎にも、ようやく春の訪れを感じるようになった今日、私たち18名は卒業の日を迎えました。本日お忙しい中、私たちのためにご臨席くださいました皆様、本当にありがとうございます。

3年前、真新しい制服に身を包み、不安と期待を抱えながらの入学式を迎えました。あれから3年。数えきれないほどの思い出を仲間とともに作ってきました。

1年生では、初めての連続で、戸惑いつつも一つ一つ、みんなで協力しながらクリアしていきました。初めての自転車通学では、雨の日がつかったこと、学校に続く最後の坂道がきつくて、自転車を押して歩いて上ったこと、時には家の人に車で送ってもらったことも、今では心に残る思い出です。

初めての部活動では、厳しい練習に思わず逃げたくなることもありました。先生に怒られることも多々あり、しんどくて、終礼終わりには、部活に向かう足が重くなることもありました。けれど、先輩方や周りの方々に応援していただき続けることができました。

2年生になって、初めて先輩の立場になりました。自分たちも後輩たちのお手本になれるようになるにはどうしたらよいか悩み、考え、努力してきた日々でした。技術だけでなく、あいさつや返事、礼儀の大切さなど、多くのことを学びました。

2学期になってまもなく行われた修学旅行。企業訪問で見た、社員の方々の活気ある働きぶりは私たちの憧れとなりました。京都自主研修は、木造建築の寺院を見て、当時の匠たちの技術の高さに息を呑みました。社会の教科書に載っている写真の真似をして、道行く観光客の方に写真を撮ってもらったことは良い思い出です。にぎやかにし過ぎて怒られたことも含め、この3日間は忘れられない思い出となりました。

3年生では、何といたっても体育祭が思い出に残っています。初めは思うようにいかず、それぞれの組でぶつかり合いました。このような状況で後輩たちをまとめることができるか不安でいっぱいでした。本番が近づくにつれ、全体が自然とまとまるようになり、みんなで良い体育祭にしようと一生懸命練習しました。いよいよ迎えた体育祭当日、天候に恵まれ絶好の体育祭日和となりました。応援合戦では、どちらの組もみんなで団結し、今までで一番良いパフォーマンスをすることができました。令和初の体育祭は、赤組青組同点総合優勝という驚きの結果となりました。みんなで協力し、達成感を味わえた体育祭。勝ち負けにこだわらず、みんなで楽しみたいという思いが生んだ、私たちらしい最高の結果であったと思います。体育祭以降、私たち3年生の絆は、ますます強くなっていきました。

文化祭では、総合的な学習の時間に、江津や島根の現状と課題について調べたことをもとに、江津の未来が活性化するために必要なことを4つのグループに分かれて、ダンスや映像などを交えて提案発表しました。江津・島根の魅力をたくさん知ることができ、自分たちが地域の人と協力して盛り上げたり活動場所を増やしたりすることで、少しでも人口が増え、地域が活性化していくといいなという気持ちが生れました。

そして合唱コンクール。このメンバーで歌うのはこれが最後。みんなとても気合いが入っていました。声がかかるほどしっかりと声を出し、思いが一つになれた合唱でした。

在校生の皆さんとは、部活動や生徒会活動など、様々な行事に取り組んできました。今年度初めて取り組んできた全校活動。本部の「宝探し」、生活安全委員会の「新聞折り畳みゲーム」、文化委員会の「しっぽとり」、保健体育委員会の「笛鬼」、厚生広報委員会の「逃走中おにごっこ」、環境整備委員会の「O×クイズ」で、私たちのつながりはさらに強いものとなったのではないのでしょうか。

今思えば、3年間は本当にあっという間です。だから、皆さんには、勉強や部活動、友だちと過ごす時間を大切に、一日一日を過ごしてほしいと思います。様々な困難にぶつかっても皆さんは一人ではありません。保護者の方々や地域の方々、そして先生方や友達など、沢山の方が見守ってくださっています。そのことに感謝し、一人で抱え込まずに相談してみてください。そして、江東中学校の伝統を受け継ぎ、これからも多くの人に応援してもらえる「つながりを大切にできる江東中生」であってほしいと思います。

今まで私たちを優しく、時には厳しくご指導くださいました先生方、本当にお世話になりました。今までかけていただいた数々の言葉や、色々な話を聴いてくださったことは私たちの心の支えになりました。本当にありがとうございました。

保護者の皆様、三年間の中学校生活を支えてくださり、本当にありがとうございました。お父さんやお母さんの心配する言葉にも素直になれず、わがままをしたり、心ない言葉を発したりしたことも沢山あったと思います。そんな態度も大きな心で許してください、いつも支えてくださいました。これからもまだまだお世話になるとと思いますが、よろしくお願いします。

出会ってから9年。そばにいたことが当たり前になっていた仲間たち。今日という日まで、時にはぶつかり合いながらも、支え合いながら中学校生活をがんばって来られたと思います。一緒に笑ったり泣いたりするのも今日が最後だと思うと、とても淋しく思います。しかし私たちはこれからもずっと友達です。最高の仲間に出会えて本当によかったと思っています。心からありがとう。

私たちはこれからそれぞれの道へと進んでいきます。この3年間で、私たちは、身体も成長しましたが、我慢すること、相手を思いやる気持ちなども成長させることができました。江東中学校で学んだ成長を誇りとし、それぞれの場所で頑張っていきます。

最後になりましたが、学校生活を支えてくださった全ての方に改めて感謝申し上げます。そして、これからも私たちを見守り、ご指導よろしく申し上げます。

江東中学校のますますの発展を祈って、
答辞といたします。

令和2年 3月8日

卒業生代表 川戸 希



学校評価の結果を受けて

今年度の学校経営の課題を明らかにし、今後に生かすために、江東中学校でも、「学校評価」を行っています。保護者のみな様にも、そして生徒にも、アンケート等に協力していただき、また、学力テスト（意識調査）の結果も踏まえて、そして学校関係者委員の皆様のご意見も参考にして、職員で、江東中学校の「強み」と「弱み」について意見を交わし分析して今後の改善策を考えました。

その結果は、報告書という形で、江東中ホームページでも公開しています。

報告書そのものは、分量も多いため、その分析に活用した生徒アンケートの結果を紹介しながら、これから、江東中学校として、頑張るべきこと絞ってお伝えします。

【学力の向上】をより目指すために

（肯定群%で、全体傾向を分析しました。）

全校生徒へのアンケートより

【強み】

生徒は…授業に、真剣に取り組もうという気持ちを持ち、また、しっかりと準備して授業に臨もうとしている生徒が多い。

		4そう 思う	3だ いたい そう 思う	2あ まり 思 わ ない	1思 わ ない	肯定群%
1	自分は、どの授業も、よく聞き、よく考えて、真剣に取り組んでいると思う。					
	全校	11	29	7	2	81.6
2	自分は、宿題や小テストへの取り組みなど、授業の準備をしっかりとしていると思う。					
	全校	14	24	9	2	77.6
3	授業の初めに先生は、本日の授業のめあてをはっきりと示していると思う。					
	全校	14	22	10	3	73.5
4	授業では、考えたり整理したり練習したりする時間がしっかりあったと思う。					
	全校	16	25	6	2	83.7

（表1 生徒アンケート①）

教員は…理解を深めるための授業の工夫をよく行っている。

【弱み】

生徒は…計画的で自主的な家庭学習ができていない人がいる。

教員は…理解した内容を定着させるための工夫が不十分である

		4そう 思う	3だ いたい そう 思う	2あ まり 思 わ ない	1思 わ ない	肯定群%
8	授業の最後に、学習内容をまとめ、振り返る活動をよく行っていると思う。					
	全校	12	16	16	5	57.1
9	先生は、授業で一人一人のわからないこと、困ったことに応じてくれると思う。					
	全校	15	18	12	4	67.3
10	自分は、家で、計画を立てて学習していると思う。					
	全校	4	16	20	9	40.8
11	自分は、自主学習ノートを充実させるなど、家庭学習を工夫して学力をつけている。					
	全校	9	16	15	9	51.0

（表2 生徒アンケート2）

〈今後は…〉

生徒は…授業に真剣に臨む雰囲気これから大切にしながら、学んだことがより定着するように、家庭学習の充実を図る。

教員は…授業では、「わからない」という生徒のつぶやきをしっかりと受け止めるとともに、定着のための授業の工夫をしっかりと行う。あわせて、家庭学習が習慣化するためには、何が必要かを考えていく。

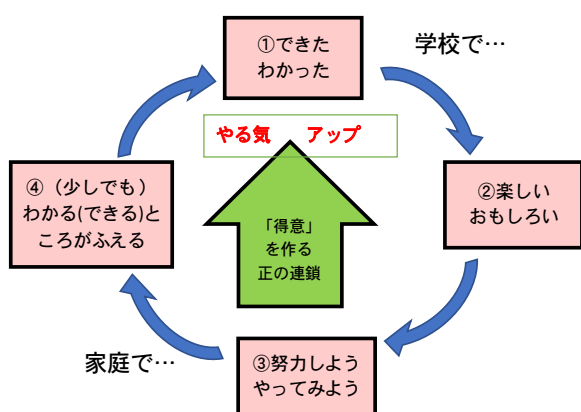
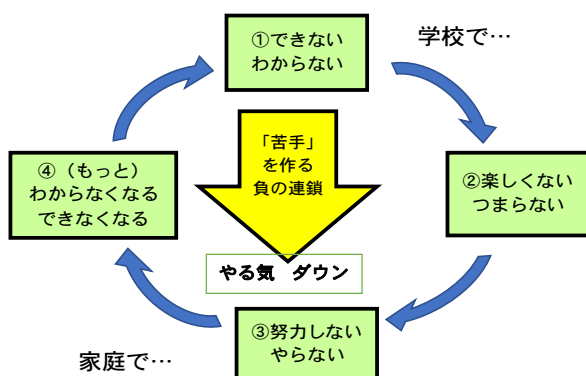
生徒の家庭での生活を考えるうえで、考えなければならないのは、次のアンケート結果です。

		4そう 思う	3だ いたい そう 思う	2あ まり 思 わ ない	1思 わ ない	肯定群%
32	自分は、3点固定(起きる時間、寝る時間、学習を始める時間)を意識して規則正しい生活をする事ができた。					
	全校	14	13	13	9	55.1
33	自分は、テレビ、スマホ、ゲームなどに使う時間が長時間にならないように気を付けて生活している。					
	全校	10	10	19	10	40.8

（表3 生徒アンケート3）

家庭での「規則正しい生活」、「スマホ（ネット）依存傾向の解消」は、江東中学校として、生徒も教職員も、本気で考えていかななくてはいけない大きな課題です。家庭での学習の質（内容）と量（時間）の充実、学習を「苦手」から、「得意」に変える大きなカギだからです。そして、この問題は、「保護者」の方と力を合わせ知恵を絞らなければ解決しない課題だと考えます。

今後、学校では、家庭学習の充実に向けてのプロジェクトチームを作り、具体的な方策を考えていきたいと思ひます。



(図4 「苦手」「得意」の連鎖(スパイラル))

【人間力の向上】をより目指すために

生徒アンケートより

【強み】

生徒は…落ち込んでいる友達を励ましたり、人の失敗を冷かしたりしない生徒が多い。

【弱み】

生徒は…友達の意見に流されてしまったり、良くない行いを注意することができにくい生徒がいる。

		4そう 思う	3だ いたい そう 思う	2あ まり 思 わ な い	1思 わ な い	肯定群 %
21	自分は、友だちが失敗したり落ち込んだりした時、はげましたりなぐさめたりできる。					
	全校	23	20	4	2	87.8
22	自分は、他の人と意見が違っても自分の意見を言うことができる。					
	全校	21	16	9	3	75.5
23	自分は、言われた人の気持ちを考えて言葉を選んで会話することができる。					
	全校	19	20	7	3	79.6
24	自分は、人の失敗を、冷やかしたりからかったりしないようにしている。					
	全校	23	20	4	2	87.8
25	自分は、いやだと思ふことは、はっきりと断ることができる。					
	全校	18	19	7	5	75.5
26	自分は、人の意見や言動に流されないよう努力している。					
	全校	16	21	9	3	75.5
27	自分は、友だちのよくない行いを、勇気を出して忠告することができる。					
	全校	15	15	13	6	61.2

(表3 生徒アンケート3)

<考察>

生徒のこの傾向は、小学校の時から、同じクラスで過ごしていることにより、人間関係の固定化や、関係を大切にすぎるあまり、周囲に遠慮してしまうからではないかと思ひれます。

<今後は…>


学校として…

- 「道徳の時間」の充実を図って、相手に流されない気持ち、また、いけない行いを注意する気持ちを持つことの大切さについて考える機会をもつ。
- 「人権集会」などの機をとらえて、生徒がお互いに自分の意見をしっかりと相手に伝えたり、また相手の意見をしっかりと聞いたりする経験を積ませていく。
- 生徒が、「他者理解を進めるために必要なことは何か」を自分のこととして考えられるように、研修会や講演会を企画し、考える場を保障する。

【参考資料 簡易マスクつくり方】

◆キッチンペーパーで簡単マスク『警視庁災害対策課考案』

□□用意するもの：キッチンペーパー、輪ゴム2（または4）、お持ち帰り




キッチンペーパーを蛇腹おりにし、端に輪ゴムをホッチキスでとめる。

ひろげて、できあがり！

◆ハンカチで簡易マスク

用意するもの：ハンカチ・ゴム紐（ヘアゴムや紐でも可）



ハンカチを、3つ折りまたは4つ折り（顔の大きさに合わせて）にする。

片側をもう片方の中に織り込む。

両端の「わ」になっているところに、ゴム紐を通して結ぶ。

厚手で優しく、フィットします。

参考：山陰中央新報3月10日記事、警視庁災害対策課災害警備係（大規模災害対策）ホームページ。

令和2年度 4月行事予定

（現段階の予定です。感染症等の社会状況から、変更の可能性があります。）

4月 8日（水）着任式・始業式

4月 9日（木）入学式

4月 10日（金）学力診断テスト（2、3年）
P T A正副会長会

4月 13日（月）身体測定 生徒会入会式
部活動説明会

4月 15日（木）P T A評議員会

4月 16日（木）生徒会専門委員会

4月 17日（金）石見地区ソフトテニス大会・
野球大会 江津市予選

4月 20日（月）P T A総会
学校公開日

4月 22日（水）～24（金）
家庭訪問

4月 25日（土）石見卓球選手権大会

4月 26日（日）県中学生バレー大会

4月 29日（水）石央野球大会

陰陽ソフトテニス大会

異動のお知らせ

この度の人事異動で、次のものが異動となりました。今までありがとうございました。

教頭 石橋 孝彦 退職（石見中学校へ）

講師 竹下 侑也 辞職（開星高校へ）

